



Happy New Year 2015

希望と笑顔の一年となりますように！
May it be a year of hope and smiles!



本年もどうぞよろしくお願いします！

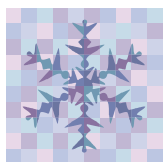
Thank you for your support this year, too!

ポーポキの目標 2015年！

1. 非暴力で平和な世界の創造のために積極的に行動します！
2. 今までの友だちを大切にしながら新しい仲間をつくり、一緒に学び合い、行動し、そしてつながりをいっそう確かなものにします！
3. 東日本大震災の支援活動を継続します！
4. 平和と健康、安全、安心についての取り組みを継続し、深めます！
5. 身近な世界にも遠くはなれた世界にも関心を持ち、情報を共有する。考えたことや見聞きしたこと、感じたことについて報告し合い、共有し続ける！
6. 周囲の人にもよろこびを提供し、みんなで喜びを分かち合います！

ポーポキ・ピース・プロジェクト

Popoki Peace Project



とっても寒い！けれど、昼間の太陽がまぶしく、真っ青のお空がすてき！夜になると、お月様や星たちはきらきらと輝いている。ポーポキは、身体を毛布に包んで暖かいところから見ている。あなたもあたたかいところにいるといいね。

Popoki's Hot News!



ポーポキのピース・ブック3や『ポーポキ友情物語 ～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色?』や、ポーポキのほかの本は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友たちのイエニにゃんから届いた平和。

「2015年9月後半に初めて日本に着いた時、様々な感情が同時に私の中にあって、とても複雑な気持ちでした。初めての海外だったのでうれしさ、インドネシアにいる家族や友達と離れなければならない悲しさ、今後日本で多くのことを学べるであろうことへの期待、自国とは異なる文化での新しい生活への不安、自身の新しい冒険に対する勇気、外国人であることで日本人と異なる扱いを受けるかもしれない心配などでした。私の中のマイナスな感情によって、時には自国が恋しくなります。しかし、日本に来て改めて気づいたことがあります。それは、心を落ち着かせてくれる青い空と緑の木々、温かさを与えてくれる太陽の存在は、どこにいても同じだということです。これらの存在に気付いた時に、私の不安は消えていきました。また、日本に来て多くの優しい人々と出会い、世界中の仲間とも出会うことができました。私たちは、言語による障壁が存在しているかもしれないが、笑顔やお互いを思いやる心、そして尊敬の念を持って接することは、言語という障壁を壊してくれます。これら3つ（笑顔、お互いを思いやる心、尊敬の念を持って接すること）の平和の部分は、美しい友情を私にもたらしめてくれて、感謝しています。そして、この3つのことを世界中のもっと多くの人々が共有すれば、私たちは、世界が平和になると思います。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



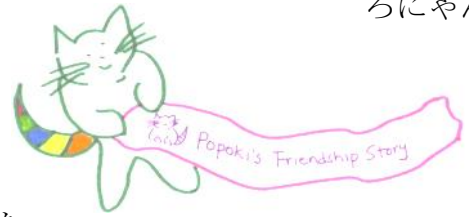
NEW! 瀬チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL 下記リンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>

2016.1.17 によせて*

ろにゃん

またやってきた
1月17日



ポーポキの周りに
21年前のこの日のことを
知らない人
まだ生まれていなかった人
若すぎて記憶にない人
が増えてきた。



知ろうとする人に
何を伝えれば良い？
恐かったこと？
悲しかったこと？
水やガスがなかったこと？
みんなががんばったこと？
再会できたときに涙したこと？
色々なものの価値が違って見えたこと？

ニュースに地震、洪水、竜巻などが頻繁に登場する。
責任を持って、自分を助ける。備える。
そういわれてもねえ…。
けど、本当は大事。

ポーポキは、あの日は怖い思いをたくさんしました。
寂しい思いも。悲しい思いも。
小さな親切でホッとしたり
微笑んだりも。

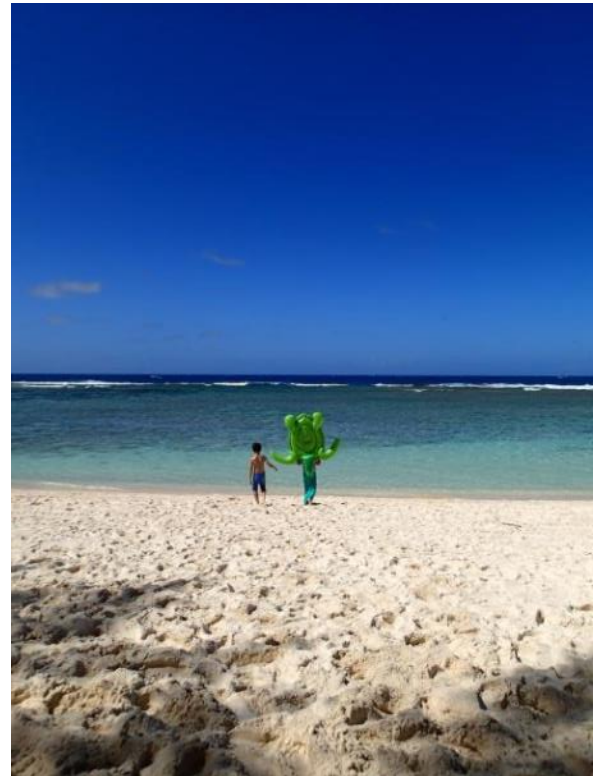
ポーポキは、手を合わせて追悼する。
そして、生きている自分のことを想う。
大きく深呼吸して
自分のいのちを感じながら
今日も生きよう！

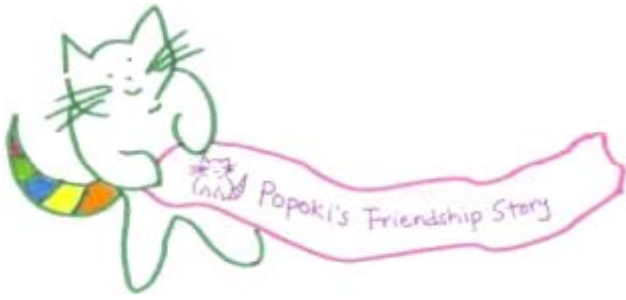
*1995年1月17日午前5：46にポーポキとろにゃんの世界が阪神大震災によって大きく揺れ、21年経っても忘れることができない体験をしました。以来、毎年この日に立ち止まって、ふりかえって、そして明日へ向かいます。

『はだしのゲン』がグアムへ！

昨年の11月にろにゃんがカーメラにゃんをつれて、ポーポキの友だちたちがいる ANT ひろしまに行ってきました。そのときに会ったのは、『はだしのゲン』を10巻とも英訳して、世界中に広めようとしている「はだしのゲンをひろめる会」の活動です。原爆投下前の広島に暮らす少年ゲンの原爆体験やその後の生活を描いた漫画です。

ポーポキは、大きな米軍基地があり、被ばく者も核兵器もあるグアム島の子どもたち、大人たちにぜひ『はだしのゲン』を共有したいと思って、グアム大学に寄贈するために1セットを受け取り、今月初めにグアムに行ったときにグアムの友人に渡しました。今後、沖縄の普天間基地からグアム島へ行く予定の海兵隊が滞在する予定地の近く、しかも彼らが使う予定の射撃場の近くで「贈呈式」を行いました。また、グアム大学以外に、神戸大学にも1セットを寄贈していただきました。





Popoki's Interview

小倉健一郎

東北沿岸部を襲った津波震災から半年たった 2011 年の 9 月、私は住み慣れた神戸を離れ、縁もゆかりもない宮城県石巻市の職員となった。

勤務先は石巻市から 30 km ほど離れた雄勝町という海辺の被災地の診療所。雄勝町には雄勝病院という海に面した 40 床の病院があったのだが、3 階建ての病院は屋上まで津波をかぶってしまい、40 人の患者さん全員と、職員のほとんどが流されて亡くなった。医師 3 名を含む職員 24 名の犠牲者は雄勝の医療を守ってきた人達だった。

町には 4000 人が住んでいたが、町の中心部と海に面した多くの漁村がほぼ壊滅し、住む場所も職場も学校も無くなったので、多くの人が町を離れざるを得なかった。残されたのは高齢者を中心にわずか 1200 人ほど。子供のいない町になってしまった。

私は仮設の診療所を立ち上げて、2 年 7 か月をそこで過ごした。

毎日、地域の高齢者の訴えに耳を傾けた。東北の言葉がよくわからなかったので、よく聞かざるを得なかったのだが（笑）。整形外科をやっていたので、高齢者には特に喜ばれた。

30 km も離れた町の病院に行かなくてもいい、と朝早くから雄勝診療所にやってきてくれた。

家族や財産や自分の歴史すら失った被災者は、心に空いた大きな穴をどうすることも出来なかった。家族が少なくなった高齢者の暮らしは今まで以上に困難になった。そんな高齢者や町に残った人に少しでも希望が感じられるような診療所にしたいと、明るい診療所作りを行った。餅つきやクリスマスの飾りつけ、夏の BBQ 大会など、診療所でイベントを行った。雄勝町には、私以外にも外からやってきて、雄勝の支援をしていこうという若者が住み着いていた。そんな外者(sotomono)と協力し合って、町を元気にするイベントをいくつも行った。その中に sweet treat 31 というグループがいた。彼らは漁業の復興支援を手始めに、廃校になった小学校を再生するプロジェクトを開始した。築 90 年にもなる小学校の屋根には雄勝石という硯の原材料と同質の屋根瓦が使われていた。東京駅の屋根瓦に使われたことで有名になった雄勝の伝統的な屋根材で、津波に流されて、この雄勝石で出来た屋根を持つ家はほとんど無くなってしまった。

写真：雄勝の鯉のぼり



ぼろぼろになっていた小学校の再生は大変な事業となった。彼らは何千人もの仲間を集め、資金を集めて、地元の人々やこの小学校の卒業生も巻き込んで、壮大なプロジェクトを進めていった。こつこつと2年をかけて再生された小学校は、今 **Moriumius** という名前の施設になって、子供たちが自然を学ぶ体験学習の施設となっている。もちろん大人も宿泊できるし、手作りの露天風呂もある。世界中の人々がこの施設に注目し、様々な人々が集まってきている。雄勝町の人口を増やすのは困難だが、交流人口が増えることによって町は活気を取り戻す。一気に僻地となってしまった雄勝町を再生する大きなプロジェクトが若者や外者によって立ち上げられている。

一方で、町の復興はなかなか進まない。震災からもう5年が経とうとしている。復興公営住宅がぼちぼちと高台に出来、ようやく仮設住宅から出られるようになってきたところだ。しかし町の中心部では造成が始まったばかり。綺麗な海の見える海岸線には9mの防潮堤が作られて6mほどのかさ上げが行われる予定だ。これからのことだが、一体どういった町になっていくのだろう。誰が望んだものかよくわからない新しい町が出来るのはまだまだ先のことである。小中学校と診療所は1年後に完成する。役場や他の公共施設は、かさ上げが終わってからのプロジェクトなので、あと5年くらいかかるのではないかな。

阪神大震災では、5年で仮設住宅が無くなった。東北では未だに仮設住宅に住む避難者が何万人もいる。都会の復興は比較的早かったが、東北の復興にはまだまだ長い時間と労力を必要とされている。いや、復興どころか人口減少で消滅するのではと危惧される町もある。雄勝町もそのひとつだ。防潮堤が作られ、新しい建物が建っても、住民の少なくなった僻地を活気ある町にするのは難しい。行政ではとても出来ないことだと思う。そのときこそ **Moriumius** のような創造性を持った住民による街づくりが必要とされるだろう。本当の復興とは、それからである。雄勝町を離れてしまったが、これからも被災地のために、雄勝のために、被災地の復興に取り組んでいる仲間たちのためにも応援を続けていきたいと思っている。



↑ 診療所の看板を書いている鈴記ドクター
↓ 雄勝で活動している AMDA 兵庫メンバー

雄勝診療所全景





雄勝のキャラクター 硯のけんちゃん

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 92

今月のテーマは、肩と指です。寒い季節に柔らかくして、元気にすごそう！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、片手は強く握りこぶしをつくって、もう片手は手の指を広く広げます。では、入れ変えてみましょう。指がほかほかになるまでくり返してね。
3. つぎは、肩を大きく前へまわして……。うしろへまわして……。数回くりかえしましょう。挑戦したい方は、片方を前へ、片方をうしろへどうぞ！
4. 最後は両肩を耳元まで上へ引っ張ってからドンとちからを抜いてみましょう。数回くりかえしましょう。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会： 2月26日 19:00～20:20 神戸 YMCA

2016. 2. 4～9 ポーポキ in 大槌町！
2016. 2. 22 トークセッション（次ページを参照）
2016. 3. 26 ポーポキのミニ平和映画祭（予定）

ポーポキの友だちからのお知らせ

・新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。

すてきな写真集です。注文などは：下記のサイト又は前田圭子さんへ。

m.dodo@h2.dion.ne.jp <http://www.shashasha.co/en/book/fukushima-traces-2011-2013/>

Coop × YMCA × Unicef

未来を創るピースフォーラム

海外から見た日本 ⇄ 福島原発事故 ⇄ 私たちの暮らし

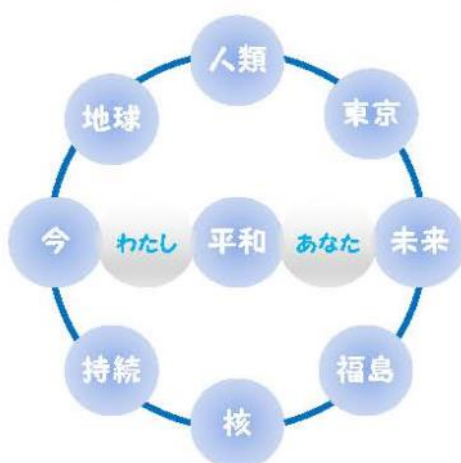
東日本大震災と福島第一原発事故の発生からまもなく5年を迎える日本。

2020年には東京でのオリンピックを迎える日本。

そのような中にある今、核と人類と平和をテーマに海外からのメッセージを聞き、日本が世界の先駆けとなる可能性について考えたいと思います。



▲スティーブ・ノーリーバーさん



▲アーニー・ガンダーゼンさん

日 時 2月22日(月)10:00~12:30

会 場 コープこうべ生活文化センター4階第3会議室(〒658-0081神戸市東灘区田中町5丁目3-18)

ゲスト スティーブ・ノーリーバーさん(前 広島平和文化センター理事長)
アーニー・ガンダーゼンさん(原子力発電技術専門家)

2015年にニューヨークにて行われたNPT再検討会議に参加した、コープこうべ組合員(松本幸子さん)と職員(小寺恵三さん)による報告も行われます。

定 員 100名(事前申込要:下記までご連絡ください)

申し込み先

コープこうべ地域活動推進部

TEL: 078-856-1212 e-Mail: soshikis@kobe.coop.or.jp

神戸YMCA 国際・奉仕センター

TEL: 078-241-7204 e-Mail: houshi@kobeymca.org

会場
マップ



ポーポキ・ピース・プロジェクトも！

主催：コープこうべ 神戸YMCA 兵庫県ユニセフ協会

協力：神戸YWCA 避難サポートひょうご

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ（WEB版の事例集）」にポーポキ！ <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える 1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの』（連載）とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮（パレスチナについて）『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」（阿久沢悦子）2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』（レベッカ・ジェニスン） p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。（リンクは現在無効）
- やさしいからなんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8（アジア女性交流・研究フォーラム）
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8 10 面





私にとってのポーポキ

まゆこにゃん

今回は、私が平和を初めて意識した時のことを振り返ってみようと思います。
私は大学生になるまで田んぼに囲まれたのどかな田舎で育ちました。自分の周りの社会はとても平和でした。その私がはじめて、平和を肌で感じたのは **2008 年** の夏でした。交換留学プログラムに参加し、オランダで **20** カ国を超える国々からやってきた同世代の子たちと合宿を行っている時でした。2 人の留学生がまだ到着していないことをスタッフが心配しています。その 2 人はグルジアからの学生でした。その数日前、ロシアがグルジアへ軍事攻撃を開始したのです。合宿残り僅かのときに、その 2 人の学生は姿を表しました。グルジアから数日をかけ車で、やってきたのです。淡々と「飛行場は爆破されたし、街は壊されている」と目の前で語る男の子の姿に **16 歳** の私はとても衝撃を受けました。これが、私が初めて世界の広さと平和を感じ、世界で起きていることをもっと知りたい、と考えたきっかけです。ポーポキのみんなはどんな時に平和を考えますか？



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!